

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Jan 2014.1
No.1023



本別中央小学校

仙美里小学校

勇足小学校

2014 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうござい
ます。新たな希望を胸に、健やかな
新年を迎えられたこととお喜び申し
上げますとともに、日ごろより町政
運営に特段のご理解とご協力をいた
だいておりますことに、心からお礼
申し上げます。
任期満了に伴います町長選挙にお
きまして、町民の皆様から力強いご
支援と心温まるご厚情を賜り、5期
目の当選の榮に浴し、引き続き町政
の重責を担うこととなりました。こ
れまで多くの皆様からお寄せいただ
きました信頼と期待に応えるべく、
さらなる本別町の躍進を目指し、本
町のまちづくりの基本理念「ともに
学び 支えあい 活力のあるまちづく
り」を合言葉に、「子どもに夢と未
来のある まちづくり」の実現に向
け、町民の皆様と共に歩み、対話の
町政に全力で取り組む所存でありま
す。
昨年、国内では、遅々として進ま
ない東日本大震災の復興や東アジア
諸国との緊張の高まり、TPP交渉
への参加、消費税引き上げの決定、
さらには、特定秘密保護法の可決な
ど、国民不在の政治が進み、人々の
暮らしや地方への影響が懸念されて
います。一方、2020年に東京都
において、夏季オリンピック・パラ
リンピック開催が決定するなど明る
いニュースも届けられました。

本町では、町民の皆様とともに創
り上げた第6次総合計画に即応した
施策を精力的に展開し、大規模太陽
光発電や木材工場などの稼働により
地域の雇用拡大が実現に至りました。
また、基幹産業であります農業は、
天候不順により若干の心配をしてお
りましたが、総じて平年並みであっ
たことは同慶に堪えないところであ
ります。
これらは、これまで進めてきた町
内の環境整備や各種制度の充実、そ
して全町を挙げて取り組んできた、
「学びを基軸とした協働のまちづく
り」の賜物であり、少しずつ、これ
までの取り組みが実を結んだもので
あります。
このような協働のまちづくりの姿
を見ることができているのは、町民の皆
様をはじめ、議会、各種団体等が一
丸となった町民力によるもので、そ
れぞれの立場で積極的にまちづくりに
進めていただいていることに、改
めて厚く感謝とお礼を申し上げます。
第2期であります。今後も町民の皆様
の思いと時代のニーズを的確に捉え、
地の利を生かし、皆様の笑顔あふれ
る、より豊かな生活に向けて確かな
礎を築き上げ、さらなる飛躍を目指
す決意を新たにいたしました。
本年もこれまでと変わらぬご協力
をいただきますようお願い申し上げ
るとともに、皆様のご多幸とご健康
を心からご祈念申し上げます。

新年あけましておめでとうござい
ます。輝かしい新春を皆様とともに
迎えられましたことを心からお祝い
申し上げますとともに、平成26年の
年頭にあたり、謹んで新春のごあい
さつを申し上げます。
日本経済は、第二次安倍内閣の
「アベノミクス」による、景気回復
のための様々な施策で、一定の経済
効果が認められるものの、その効果
は大都市、大企業にとどまり、地方
の地域経済が活力を取り戻すには、
まだまだ厳しい状況下にあります。
また、だれもが予想しえなかった未
曾有の大震災に対する復興は、まだ
始まったばかりですが、確実に一歩
一歩前進しています。時代はますます
す混迷を極めておりますが、今、私
どもの眼前に輝く21世紀の舞台が大
きく展開されようとしている事も事
実であります。
本町の基幹産業である農業につき
ましては、農業に携わる皆さんのた
ゆまぬ努力の甲斐もあり、一昨年に
引き続き、本来の収穫を得ることが
できたと考えているところでありま
す。しかし、TPPへの参加交渉問
題では、とりわけ農業、そして商工
業を含む全ての産業にとっても重大
な局面を迎えているところでもあり
ます。
本町経済は、新たな企業の進出も

あり、長く企業誘致を進めてきた効
果が出てきているものと考えており
ます。
近年の地方分権の進展により、住
民に身近な市町村の役割は一層重要
になっております。本別町政におい
ては、少子高齢化・過疎化対策、農
業振興、新たな仕事づくり対応、商
店街の活性化などの課題もございま
す。このような課題を抱える中、本
町議会とその議員が果たすべき役割
および責務の重要性は、ますます増
大してきております。
議会では、「開かれた議会づくり」
を積極的に進めるため、例年開催し
ております町民懇談会を始めとし、
議長との対話室も行わせていただ
きました。これからも議会の活性化
を進めてまいりますので、多くの人の
参加とご意見を賜りますようお願い
申し上げます。
議会の役割は、予算案などの議決
のみではなく、行政へのけん制や監
視、議員自らが政策を提案・立案し
ながら、町民皆様の声を行政に反映
させることです。まちづくりの主役
は皆様であることを第一に、住んで
よかつたと思えるまちづくりの実現
に向けて、努力して参りたいと考
えております。
町民の皆様にとりまして、本年が
実りある飛躍の年となりますよう心
から祈念申し上げます。



本別町長
高橋正夫
Masao Takahashi

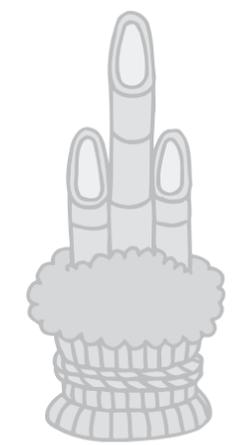
- 【役場】 町長 高橋正夫 委員 笠原 求
- 副町長 砂原 勝 【教育委員会】
- 【町議会】 議長 方川一郎 教育委員長 水谷令子
- 副議長 林 武 職務代理者 布施耕一
- 委員 山下博志
- 【総務常任委員会】 委員 鈴木清志
- 委員長 方川英一 教育長 中野博文
- 副委員長 戸田 徹 【選挙管理委員会】
- 委員 黒山久男 委員長 中川祐一
- 委員 林 武 職務代理者 木下英子
- 委員 山田鶴雄 委員 小林信雄
- 【産業厚生常任委員会】 委員 十河 透
- 委員長 山西二三夫 【監査委員】
- 副委員長 阿保静夫 代表 畑山一洋
- 委員 小笠原良美 委員 山田鶴雄



本別町議会議長
方川一郎
Ichiro Katakawa



- 【公平委員会】 委員長 大和田和盛 委員長 山下芳久
- 委員 矢野邦夫 職務代理者 土藏啓一
- 委員 新津直子 委員 前田時男
- 【農業委員会】 委員長 帰山孝美
- 会長代理 佐々木幸一 副委員長 志戸田由美子
- 委員 山西二三夫 委員 田口 守
- 委員 細田 昇 委員 沼田久枝
- 委員 牧田安史 委員 小川末男
- 委員 今野公司 委員 新田美知子
- 委員 登坂 昇 委員 井出良則
- 委員 阿保静夫 委員 金山泰幸
- 委員 友高裕満 【本別消防団】
- 委員 荒 哲弘 団 長 遠藤利之
- 委員 新津初男 副団長 三井孝寿
- 委員 荒木幸造 委員 矢野邦夫
- 委員 風間 進 委員 伊藤英昭



新春

夢

希望



一人ひとりに個性があり、夢がある。
今の気持ちを忘れずに、
君だけのよさを輝かせよう！

うま年生まれ

年男、年女になる子供たちは中央小、勇
たいことなどを聞いてみました。(敬称略)

勇足小学校

【5年生】

- ☆夢Ⅱ人のやくにたつような仕事につくことです 綾野沙耶
- ☆夢Ⅱプラモデル会社を作って、大ヒットさせることです 篠原伶緒
- ☆夢Ⅱ習字の先生になって、みんながあこがれてくれる先生になる！ 二瓶未央菜
- ☆夢Ⅱ警察官になっていろいろな人はんをたいほしたいです 久常 遥
- ☆夢Ⅱプロ野球選手になることです 前田愛都
- ☆中学校で国語の勉強をがんばります 石上晴康

仙美里小学校

【5年生】

- ☆夢Ⅱ野球選手 井出景介
- ☆夢Ⅱデザイナーさんです！ 佐川弥夢
- ☆夢Ⅱ保育所の先生です 篠原千尋

本別中央小学校

【5年生】

- ☆夢Ⅱ保育園の先生 荒井若菜
- ☆夢Ⅱサッカーせんしゅ 飯田公太
- ☆夢Ⅱマンガ家になって、みんなに読まれるマンガを描く 井出遥香
- ☆国語の勉強で漢字をがんばりたいです 稲田玲奈
- ☆野球の全道の試合で優勝する 岩崎雄斗
- ☆夢Ⅱりょうり人になること 宇佐見悠磨
- ☆バスケットが上手になれるように頑張りたいです 大野美咲
- ☆かんごしになって、人々を助ける仕事をしたい 岡田七海
- ☆サッカーをやっているので、全道にいくこと 小澤詩月
- ☆夢Ⅱスポーツ選手になること 貝瀬菜佑
- ☆人の話をちゃんと聞くのをがんばる 方川直哉
- ☆夢Ⅱハッキリと話せる、素敵なアナウンサーになりたいです 木下あいか
- ☆野球でチームをひっぱられるような選手になりたいです 齊藤 翼
- ☆夢Ⅱ小学校の先生 篠原早紀
- ☆夢Ⅱメーカーアーティスト 鈴木伽奈
- ☆夢Ⅱ音楽の先生 鈴木晶愛
- ☆夢Ⅱプロ野球選手 高野壮大
- ☆学校を休まずに登校する 高橋伽綾
- ☆健康に気をつけたい!! 田中琉々
- ☆スケートをすべれるようにがんばる 塚田優花
- ☆バスケのれん習をしんけんにする 塚林 遼
- ☆習字で、「毛筆」と「書き方」りょう方も

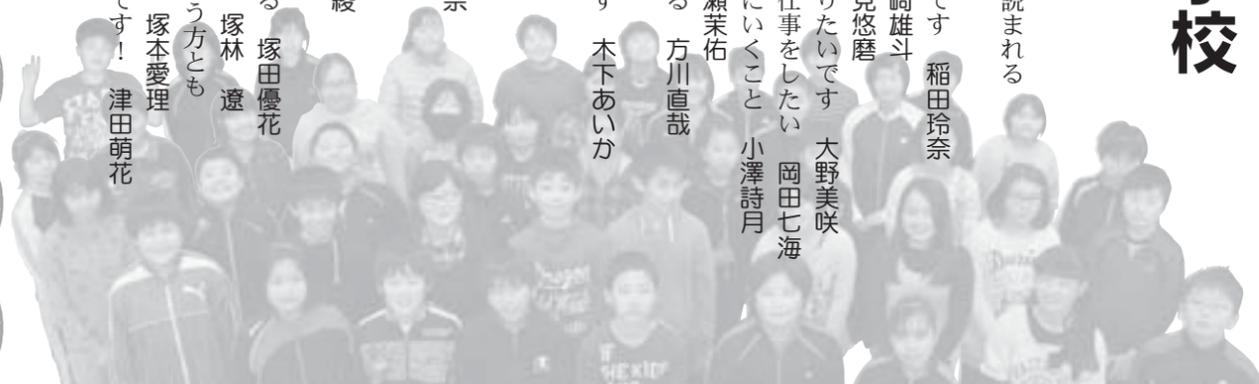
【6年生】

- ☆6年生として学校をひっぱっていきたくたいです 西山千世羽
- ☆もつと字をきれいにかく 半谷梨奈
- ☆人にたいしてやさしくする 星 史哉
- ☆夢Ⅱプロサッカーせんしゅ 星 雅哉
- ☆来年野球のキャプテンなので、キャプテンとして全道大会で優勝する 本寺 凌
- ☆ピアノの練習をしっかりと 松井 廉
- ☆夢Ⅱお金持ちになりたいです 宮本祭美
- ☆健康やけがに気をつけてすごしたい 三削朔哉
- ☆積極的に行動して、なにごとにもチャレンジし、勉強も努力したい 安久津亜弥
- ☆夢Ⅱ医者です。人と話すことが好きだし、人の役に立ちたいからです 飯居絢音
- ☆何事にもチャレンジする！4月から中学生なので勉強もがんばりたいです 井出望友
- ☆中学生になったら、勉強が難しくなるので頑張りたいです 伊藤聖紘
- ☆夢Ⅱお金をかせいで自分のみせをだすこと 小川和輝
- ☆勉強や部活を両立し、中学のレベルについていけるようにしたい 佐藤正晴
- ☆ソロコンクールで金賞をとる 志賀美桜音
- ☆頑張りたいことは、勉強です。すこしずつ勉強がむずかしくなってきたので、一つ一つをしつかりおぼえたいです 鍋野巨輝
- ☆夢Ⅱカプコンのゲームクリエイターになること 浪江高幸
- ☆中学校に行ったら勉強と部活を両立させる 向井啓祐
- ☆中学校に行ったら勉強と部活を頑張る 楽しい年にしたい 向井悠真
- ☆中学校の勉強にガンバってついていきたいです 望月諒祐
- ☆ガンバラをリアルにきれいに作りたい 吉田直人

ぼくたち わたしたち

2014年の干支はうま(午)。平成14年生まれで今年、
足小、仙美里小合わせて55人。将来の夢、今年頑張り

- ☆卒業に向けて勉強をがんばりたいです 塚本愛理
- ☆夢Ⅱ刀をつくる人 露木優護
- ☆夢Ⅱサッカー選手 中屋敷綺斗



仙美里中学校閉校記念特別講演会 第51回本別町PTA研究大会

「生命の大切さ」



仙美里中学校閉校記念事業協賛会（三井孝寿会長）による、同校（式見祝賀校長、19人）閉校記念特別講演会・第51回本別町PTA研究大会が12月1日、同校で開かれ、戦場カメラマンの渡部陽一さんを迎えた「生命の大切さ」と題した講演に約650人の来場者が聞き入りました。

講演は、渡部さんの戦場取材中の様子や写真などを紹介したDVD上映から始まり、上映後に入場した渡部さんは、テレビでお馴染みのゆつくりとしたやさしい口調で戦場カメラマンになったきっかけや戦場の子供たちの生活、学校の様子などを写真を写し出しながら全身を使って来場者へ語り掛けました。その中で、戦場ではミサイルや砲弾によって建物が壊され、けがをして亡くなったたり、劣悪な生活環境のため病気を患って生まれてくる子どもが多い現状から、「戦争の犠牲者はいつも子供たちである」と強調。悲惨な戦争を止めるためには、第三者の立場の国や機関が手を差し伸べ、戦争の原因となっている問題を十分把握し解決していく必要があると指摘しました。

講演後に設けられた質疑応答では、など多数の質問が寄せられ、渡部さんは、「食事は豆や毛虫をよく食べる。毛虫が大好きになった」などと笑顔で答えてくれたほか、持ち物については、「家族写真を常に持ち歩く」と話し、両親や妻への感謝の気持ちも語ってくれました。



講演に耳を傾ける仙中生



終了後に行われた記念撮影

いきいきほんべつ

ふれあい祭り



多彩な催しで交流

「学びを通じた新しいネットワークづくり」をテーマに、いきいきほんべつふれあい祭り（実行委員会主催＝田原美枝実行委員長）が11月24日、中央公民館で開催されました。

会場を町体育館から中央公民館に移して実施された今年度の祭りには、34団体・サークル、10個人が出店。このイベントは、日ごろの活動を発表する場として定着するとともに、来場者と出店者がコミュニケーションを楽しむのも、特徴の一つになっています。

館内では、うどんやそばなどのバザーや、手作り雑貨・アクセサリなどのフリーマーケット、健康・食に関するコーナー、農産加工品販売のほか、絵本の読み聞かせ、人形劇など、それぞれが特色を生かした多彩な催しを展開し、会場を訪れた約850人は、多くの人との交流を図りながら楽しい1日を過ごしました。

どろどろ世界へ飛び出せ

障がい者週間

記念事業



第11回障がい者週間記念事業（主催：チャレンジド・ネットワークほんべつ＝新津和也代表）が12月14日、中央公民館で開催され、障がいを持ちながらも元気に本別中央小学校へ通う4年生の井出朗人さんと母直美さんを主人公とした創作劇「普通がいい」が上演されました。

本別で暮らし続けられる町づくりを

上演前に行われた開会式で、新津代表が「このような機会があることで、千差万別の人たちの特徴、個性を見つめてもらいたい」とあいさつ。いよいよ幕を開けた劇では、5人の出演者により、朗人くんが仮死状態で生まれた時や退院時、小学校



つつじの園通所者による作品販売



銀河サロンのカレーで昼食

入学前までの直美さんと医師らの会話の様子が再現されました。ナレーターとして出演した直美さんは、実際の写真とともに当時から現在までの気持ちを語り、劇の最後には朗人くんも登場。直美さんは、「障がいを持った子どもは親がいないと生活できない。親がいなくなった後もみんなが本別で暮らし続けられる町づくりが必要です」と涙ながらに訴え、会場からは大きな拍手が送られました。

この他、館内では、つつじの園や銀河サロン運営委員会などチャレンジド・ネットワークほんべつ加盟団体による小物販売やフリーマーケット、縁日やフードコーナーなど多彩なイベントが行われ、町内外から訪れた約320人の来場者が障がいについての理解を深めました。

ほんべつ学びの日

フェスティバル



豊かな心を育むまちづくりの必要性を再認識

ほんべつ学びの日フェスティバルが12月7日、「まちの中に四つの風を吹き渡らせよう！」をテーマに、中央公民館で開催されました。

啓発セレモニーでは、水谷令子教育委員長が、「さまざまな体験を通して、学びの輪を広げてください」とあいさつした後、ほんべつ学びの日宣言文の朗唱、四つの風を紹介。続く、中学生意見発表では、宮野真衣さん（勇足中3年）と佐藤安純さん（仙美里中3年）が自分の意見や思いを堂々と発表したほか、本別中学校吹奏楽部による演奏も披露されました。

この他、館内ではニュースポーツや料理、太極拳などの体験コーナー、バザー、各種展示など、1日を通してさまざまなジャンルの催しが展開され、会場を訪れた、教育関係者や町民約500人は、子供たちと共に学びへの関心を高めるとともに、家庭・学校・地域が一体となった豊かな心を育むまちづくりの必要性を再認識しました。

勇足中学校 授業

11/27 12/18

勇足中学校（上田禎子校長、24人）が全校生徒を対象に、外部講師を活用した授業に取り組みました。11月27日に、JA本別町青年部美帯支部（山田幸平支部長）部員指導の下、本別産小麦「はるきらり」を使用したピザと棒パン作りに挑戦。総合的な学習の時間を活用した取り組みで、生徒らは共同作業で作った生地を、外に移動し、ピザは窯で、棒パンは炭火で焼きあげ、昼においしくいただきました。12月18日には、本別警察署員を講師に迎え、スマートフォンや携帯電話を使用したラインやフェイスブックなど、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）利用についての授業を実施。警察署員は、実際に被害にあったケースを紹介しながら、SNSは便利な反面、使い方を一歩間違えると事件・犯罪に巻き込まれる可能性があることに注意を促しました。生徒らは、真剣な眼差しで聞き入り、スマートフォン等の使用方法について理解を深めました。



ピザと棒パン作り



スマートフォン・携帯電話利用についての授業

ジンギスカン、 農産物で復興支援

11/24

宮城県南三陸町で開催される復興市へ向け、11月22日に役場前をマイクロバスとトラックで出発した宮城県南三陸町復興市支援隊（千葉輝男団長）の一行10人（町職員7人、商工会青年部員3人）が11月24日、現地で開かれた同市で町の農産物などを格安で販売し被災者や支援者等を元気づけました。復興市への参加は今回で4回目。支援隊のテント前には、隊員らの「いらっしゃいませ」の大きな掛け声で大勢のお客さんが訪れ、持参したジンギスカン30kg、生豆（金時豆、小豆、黒豆）75kg、パレイシヨ100kgを完売。売上金77,400円は、今後の活動に役立ててもらおうと全額復興市実行委員会へ寄付されました。



ゴール目指して 元気に走る！

11/25

家庭教育支援事業「なかよし」による、ちびっこ運動会が11月25日、健康管理センターで開催されました。参加した29組65人の親子は、かけっこやおやつ競争など3つの競技に挑戦。子供たちは、お母さん目指して一生懸命ハイハイしたり、ゴールまで元気いっぱい走り抜けるなど、かわいらしい姿を見せてくれました。



教育目標

壮健 文慶 尚學



平成26年度の本別中学校との統合に向けて行われた1回目の交流授業。1年生の社会科の様子（本別中学校にて）。



生徒の学習活動は校内にとどまらず、各方面で活躍してくれました。9月24日、「町英語暗唱大会」に参加し堂々と発表しました。



9月27日仙美里小学校高学年と合同で行われた交通安全キャンペーン。小中交流の一コマです。

絆
つな
がれ
未来へ
仙中への感謝とともに

この一年を
ふり返って

各学校の手作りページ

HELLO
仙美里中学校



2年生が「総合的な学習の時間」のキャリア教育で農作業を体験しました（三井農場）。



仙美里中学校にとって最後の修学旅行。楽しかった思い出とともに、しっかり学習も深めました。



12月1日開催の閉校記念講演会。戦場カメラマン「渡部陽一」氏を講師に迎えて行われました。

立江小学校児童と ネットで交流 12 2

徳島県小松島市立立江小学校と本別町をインターネット回線でつないだライブ授業が12月2日、役場で行われ、同校と交流のある勇足小学校の曾根広至校長と児童会長の福田翔子さん、高橋正夫町長が立江小児童5・6年生32人と交流しました。この取り組みは、立江小の児童18人が12月24日から本町を訪れるための事前学習として行われたもので、初めに高橋町長が本別開拓の歴史を紹介した後、立江小児童が本別の人口や気温、特産物などについて福田さんへ質問。福田さんは、ハキハキとした口調で回答し、「立江小の皆さんと会えるのを楽しみにしています」と本別の再会と交流に期待を膨らませました。



シネマックス本別 ソーラー発電所発電開始 12 4

勇愛工業団地で太陽光発電施設「シネマックス本別ソーラー発電所」建設を進めていた、ロイヤルリースの親会社千葉興行（千葉県）の白井正人社長が12月4日、役場を訪れ、高橋正夫町長に同施設の竣工と発電開始を報告しました。同施設の発電出力は約500キロワット。一般家庭190世帯に相当する電力量になる見込みで、全量北海道電力に売電されます。白井社長からは、「本別町と共に、事業を進めていきたい」と今後の



意気込みが述べられたほか、ロイヤルリース名で町産業振興基金へ10万円の寄付がありました。

学校給食に本別産 和牛ハンバーグ 12 3

本別産和牛ハンバーグが12月3日、学校給食に登場しました。これは、勇足西5で農業を営む加藤寛治さんから、子供たちに本別でも和牛が飼育されていることを知ってもらいたい、おいしいハンバーグを食べてもらいたいという思いから提供されたものです。勇足小学校1年の西久保春稀くんは、「いつものハンバーグよりおいしい」と、大きな口で頬張っていました。



北海道社会福祉協議会 会長賞を受賞 12 4

第24回全道シルバー作品展絵画の部で北海道社会福祉協議会会長賞を受賞した塚谷信一郎さん（南2丁目）が12月4日、中野博文教育長と共に役場を訪れ高橋正夫町長に受賞を報告しました。作品は「春を待つ十勝」と題し、本別の雪景色を描いた見事な油絵。塚谷さんは、「製作には4か月かかった。思いがけなく受賞させていただき、これまで応援していただいた皆さんにも感謝したいと思います」と製作の苦労と受賞の喜びを語りました。



よいしょ 12 5

仙美里保育所もちつき会が12月5日、同保育所で実施され、18人の子供たちが「よいしょ」の掛け声で、石臼ときねを使って15kgのもち米をつき上げました。年長の太田優季ちゃんは、「あんもちときな粉もちが大好き」と笑顔を浮かべ、つき上がったもちは、納豆やあんなど5つの味が付けられ、昼にみんなで味わいました。この取り組みは、斉藤井出建設親睦会（深井武春代表）が、地域貢献と子供たちの思いづくりを目的に毎年行っているもので、今年度で9回目になります。ついたもちの一部は、鏡もちとして町内4か所の保育所にも配られました。



チェロで心の復興 12 6

東日本大震災復興支援、土田英順チエロチャリティコンサート（十勝池田地方法人会本別会・本別町芸術文化事業振興会共催）が12月6日、町体育館で開かれました。このコンサートは震災18日後からスタートし、今回で182回目。会場には、土田さんの奏でる「アベマリア」や「月光」などの名曲が流れ、来場した約110人の観客を魅了しました。演奏には、震災で犠牲になった女性のチェロが使用され、土田さんは「これからも心の復興を支えていきたい」と語りました。



クリスマスコンサート 12 7

本別ブラスアンサンブル（唯野靖紀会長）による第26回クリスマスコンサートが12月7日、道の駅ステラ★ほんべつで開催され、約90人の来場者が一足早いクリスマス気分を味わいました。コンサートは3部構成で行われ、22人の団員がクリスマスソングやアニメメドレーなどアンコールを含め18曲を演奏。第3ステージでは、恒例のプレゼント抽選会のほか、本別ジュニアブラスアンサンブルの団員8人も加わりステージを盛り上げました。



相手を思いやる ことが大切 12 9

仙美里小学校（寺島康博校長、31人）3～6年生17人を対象とした人権教室が12月9日、同校で行われました。この取り組みは人権の花運動の一環として行われたもので、講師は本町の人権擁護委員棚村憲昭さん、前田友司さん、田口昭子さんの3人。児童らはいじめをテーマとしたDVDを見た後、同委員とともに内容を振り返りながら「いじめを見ているのもいじめになる」「いじめをいじめで返してはいけない」などの意見を出し合い、相手を思いやることの大切さを学びました。



農業塾開講

12 18

町営農指導対策協議会（会長＝高橋正夫町長）主催による本別町農業塾が12月18日、農業後継者など約40人が参加し中央公民館で開催されました。1回目のこの日は、ノースプロダクション社長の近江正隆さんが、「ネット販売の経験から得たこと。現在の活動。そしてこれから。」と題して講演。近江さんは、14年間漁師で生計を立てながら、それを生かしたインターネットショップで成功。漁船転覆事故を機に、現在取り組む体験型農業実習をスタートさせ、都会の高校生や社会人に、農業の持つ食や人づくりなどの素晴らしさを伝えています。今後はこの取り組みが広がることを期待すると述べました。



100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

佐々木ヨシさん（上本別）が12月13日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金7万円と商品券3万円分が贈呈されました。

ヨシさんは福島県生まれ、子どものころ両親に連れられ本別町へ移住。一度は本町を離れて暮らしていましたが、昭和7年に故長治さんと結婚したのを機に、再び本町で暮らし、農業を営みながら6男2女のお子さんを育て、11人の孫と4人のひ孫、2人のやしゃごに恵まれました。現在は長男の茂さん夫婦と暮らしており、大きな病気もなくアメニティ本別のデイサービスに週3回元気に通っているとのこと。100歳を迎えられた気持ちを尋ねると、「100歳まで生きられると思っていなかったのうれ



しい。家族によくしてもらって毎日楽しく過ごしています」と話してくれました。

防犯を呼び掛ける

12 16

本別警察署（野村泰則署長）による歳末特別警戒パトロールが12月16日、町内で実施されました。同署内で行われた出動式で、野村署長が、「1件の事件事故も出さないように、パトロールをお願いします」とあいさつした後、同署前から警察車両3台と町青パト隊車両4台が回転灯を回しながら出動。続いて、2班に分かれた警察署員や自治会自主防犯組織、町生活安全推進協議会会員など約70人が徒歩で出発し、商店街を中心に、道行く人に防犯啓発チラシや耳かきなどが入った袋を手渡ししながら防犯を呼び掛けました。



子育て支援計画を検討

12 18

第1回本別町子ども・子育て会議（田西昭子会長、20人）が12月18日、中央公民館で行われました。会議では、高橋正夫町長が出席した委員一人ひとりに委嘱状を手渡した後、事務局から同制度や今後のスケジュール等について説明がありました。この会議は、国の子ども・子育て支援新制度に基づき、平成26年度中に本町の「子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、公募や子育て支援団体などの推薦を受けた委員から意見をいただくもの。同会議では、町がすでに実施している子育てに関するニーズ調査での結果を基に、町内で子育てをする保護者等の要望や実情に合った支援計画の検討を進めていきます。



歌や体操、 プレゼントに笑顔

12 16

家庭教育支援事業「なかよし」によるみんなで楽しいクリスマス会が12月16日、子育て支援センターで開催され、40組86人の親子が参加しました。子供たちは、人気キャラクターの体操や、クリスマスソングを歌って楽しんだ後、サンタさんからプレゼントを受け取り記念撮影でかわいらしい笑顔を見せていました。



子どもならではの視点で

12 16

社会科授業の一環で議会の体験学習が12月16日、町議会本会議場で開かれ、本別中央小学校（嶋山孝美校長、264人）6年生48人が議会の仕組みについて学びました。児童らは、議員席と傍聴席に分かれて着席し、議員役を務めた18人の児童が、「議会はどんなときに行われますか」「本別町ではどのようなボランティア活動をしていますか」などの質問を子どもならではの視点で発言。この日出席した、2人の町議会議員らが、一つ一つ丁寧に答弁し理解を求めました。最後に、児童代表の志賀美桜音さんが、「大人になって叶えてほしいことがあったら、もう1回やってみよう」、高野藍加さんが、「住みやすいまちをつくるために活動してもらいたい」などと感想やお礼を述べ、林副議長は、「将来有望な人材として、戻ってきてください」とエールを送りました。



老人ホームで おもちつき

12 13

本別もちつき保存会十五夜会（菅原信子会長）の会員9人が12月13日、老人ホームを慰問し、入所者と一緒にもちつきを行いました。つきあがった3臼のおもちは職員らの協力によりあんこを包み大福もちにして、みんなでおいしくいただきました。



ゲームで楽しい クリスマス

12 14

児童館3館合同クリスマスのつどいが12月14日、町体育館で開かれました。参加した幼児から小学生37人は、じゃんけん列車などのレクリエーションやゲームで盛り上がり、読み聞かせサークルすいーとぽてとによるパネルシアターを見るなど、一足早いクリスマスを楽しみました。



みんなの健康

353

「特定健診」という言葉をご存じですか？特定健診とは、日本人の死亡原因の約6割を占める虚血性心疾患、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病予防のために40歳以上の人を対象に実施されている健診です。

特定健診



生活習慣病は、「年を取ったため」「身体が異常を来した」というものではなく、若い時からの生活習慣が深く関係しており、不規則な生活リズムや偏った食生活が大きな要因となります。「自分なりに考えながら生活しているから大丈夫！」という人もいますが、いざ健診結果を見てみると予想外の結果が出てくることあります。

若し世代、特に40歳代から50歳代の女性の受診率が低い傾向にあります。自分の身体と向き合うためにもぜひ一度健診を受けてみてはいかがでしょうか。

今後は2月に健康管理センターで特定健診を実施するほか、町国保病院やほんべつ循環器内科クリニックでも受けることができます。詳しいことについては健康管理センターまでお問い合わせください。

本別町健康管理センター
保健師 数藤はるか

もありません。

健診を受診することで、自分の健康状態を知ることができただけでなく、生活習慣の改善を図るきっかけになり、生活習慣病の予防や改善をすることにもつながります。また、定期的に健診を受けることで異常の早期発見が可能となり、重症化や合併症を避けることもできます。健診後には結果に応じて一人ひとりにあった生活習慣の改善に向けた保健指導を実施し、保健師や栄養士が皆さんの健康を維持・増進または改善できるようにお手伝いをしていきます。

本別町では、

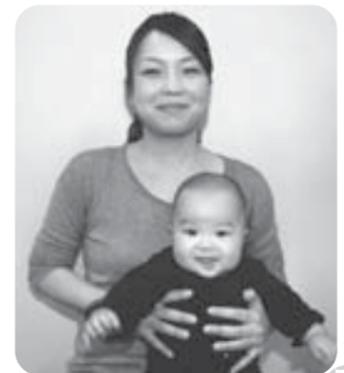
未来に輝く子どもたち



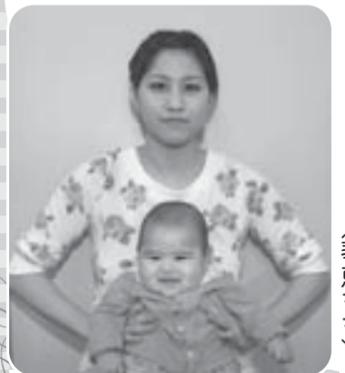
本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくましの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



中央小学校
金丸 未織 (七海ママ)



向陽町
石黒 優心 (恭子ママ)



北4丁目
佐々木 心結 (琴恵ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

銀河ホップダンス

足寄町

雌阿寒スキーハイキング & スノーシュートレッキング

歩くスキーとスノーシューで、冬の阿寒国立公園雌阿寒温泉・オンネトー地区の自然観察と森林浴を体験します。終了後は温泉で休養します。

□とき 2月9日(日)
午前10時～



□ところ 雌阿寒温泉前集合
※足寄町から送迎バスをご利用の方は、午前9時に足寄町民センター前に集合してください

□定員 スキーハイキング、スノーシュートレッキング 各25人
□参加料 1人 1000円
□その他 昼食、入浴用具をご持参ください。昼食時には温かい豚汁を用意します
□申込先・詳細 あしよる観光協会
☎2516131

陸別町

第33回 しばれフェスティバル

今年のしばれフェスティバルも盛りだくさんの企画で皆様をお待ちしております。是非ご来場ください。

□とき 2月1日(土) 2日(日)



□内容 よしもとお笑いステージショー (♀★健康ポイズ、ものいほか)、ご当地アイドルライブショー (フルーティ、EverZOne)、しばれ花火、獣電戦隊キョウリュウジャーショー、大抽選会ほか
□問い合わせ 陸別町役場産業振興課
☎2712141 内線135
・しばれフェスティバル実行委員会ホームページ(しばれフェス)で検索 確認ください

□ところ 陸別町イベント広場 (陸別町宇遠別)

ご寄付ありがとうございます

平成25年11月12日から12月20日

- 次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★本別町老人ホーム指定
ダイコン15本 …… 匿名
 - ★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定
金20,000円 …… 匿名
 - ★本別町学校給食共同調理場指定
自家産和牛ハンバーグ(155g)340個 …… 勇足西5 加藤寛治
 - ★本別町国民健康保険病院指定
タオル100本・雑巾30枚・保冷剤用カバー15袋 …… 共栄自治会婦人部一同
 - ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金300,000円 …… 美里別西中 小坂ミナ子
 - ★町内保育所指定
ブロック8セット …… 本別ライオンズクラブ 会長 伊藤 巖

- ★本別町産業振興基金指定
金100,000円 …… 千葉県 ロイヤルリース株式会社 代表取締役 伊藤慶弘
 - ★図書購入指定
金200,000円 …… 南2丁目 岡崎 勉
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★福祉でまちづくり推進事業
金300,000円 …… 美里別西中 小坂ミナ子
 - ★本のまち・夢プラン事業
金30,000円 …… 徳島県 吉見勝之
金50,000円 …… 匿名
- 〈内訳〉
- ★福祉でまちづくり推進事業 …… 金10,000円
 - ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 …… 金10,000円
 - ★自然との共存・環境保全推進事業 …… 金10,000円
 - ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 …… 金10,000円
 - ★本のまち・夢プラン事業 …… 金10,000円

本のある暮らし 154

図書館の仕事って？

戸籍のまど

11月後半から
12月前半の
届出分

お誕生

内田 青奈^{ちか} 智大^{ちか} 朱美^{しゅみ} 11/10 弥生町
 神野 莉子^{りこ} 謙一^{けんいち} 陽子^{ひなこ} 11/22 南2丁目
 上野 葵^{あおい} 嗣^{つぐ} 弥^や 千尋^{ちひろ} 11/29 中学校

ご結婚

(木本 祐太^{すけた} 錦町
 佐藤 彩香^{あやか} 上士幌町
 高長根 雄太^{ゆうた} 拓農
 櫻井 くるみ^{くるみ} 帯広市
 佐藤 俊行^{しゅんぎょう} 美里別高東
 長峯 彩乃^{あやの} 東京都
 鈴木 宏道^{ひろみち} 共栄1
 田中 純子^{じゅんこ} 共栄1

おくやみ

前佛アエ子^{あえこ} 93歳 11/16 チエトイ2
 藤井 繁男^{しげお} 91歳 11/16 柏木町
 梅津 忠雄^{ただお} 95歳 11/18 拓農
 渡邊 マサ^{まさ} 91歳 11/19 北3丁目
 田西 信吉^{のぶきち} 90歳 11/19 向陽町
 戸谷 ヨシ^{よし} 93歳 11/21 南2丁目
 佐藤 梅春^{うめはる} 73歳 11/21 押帯
 鈴木 國枝^{くにえ} 75歳 11/28 活込
 太田 五月^{さつき} 78歳 11/28 北3丁目
 井原キミコ^{きみこ} 93歳 12/11 美蘭別

わたしたちのまち

前月比
 人口 **7,916人(-23)**
 男 **3,891人(-10)**
 女 **4,025人(-13)**
 世帯数 **3,789戸(-11)**
 〔11月末日住民基本台帳〕

～中高生の職場体験学習～

1 本別中学校 1年生 10月15日～16日



「新刊書の装備中…本の持って、おもしろい」

2 本別高校 1年生 10月17日～18日



「読み聞かせデビュー！ぶつくるの皆さんに聞いてもらいました」

3 勇足中学校 2年生 12月3日～5日



「カウンター業務、頑張っています」

昨年の10月から12月にかけて、町内3校の生徒7人が、図書館の仕事を体験しました。カウンター業務、書架の整理、本の装備、読み聞かせ体験など、日ごろは見えない図書館の仕事を通して、たくさんの人と本にふれあいました。

これを機会に、図書館をおおいに利用して、これからの学習や生活に役立ててください。そして、読書の楽しさをどんどん発信してくれるとうれしいです！

お問い合わせ先
本別町図書館
 (愛称：ぶつくる一丸)
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112